

活力ある農業と地域を支える 農業農村整備の推進について要請

島根県農業農村整備推進協議会 島根県農地・水・環境保全協議会

島根県農業農村整備推進協議会（会長・楢野弘和大田市長）、島根県農地・水・環境保全協議会（会長・田中武夫安来市長）は7月13日、令和6年度農業農村整備予算の確保、防災減災、国土強靱化対策、多面的機能支払制度、中山間地域等直接支払等について、農林水産省、財務省、県選出国會議員及び進藤金日子参議院、宮崎雅夫参議院議員に対して要請活動を行いました。要請活動には地元代表として安来市比田地区の「えーひだカンパニー(株)」の田邊裕子氏と田邊泰成氏、島根県農村整備課森山課長、国営事業対策室傍島管理監、事務局として本会から渡部専務と高橋常務ほかが同行しました。

楢野会長らは要望先に対し、「県土の約9割を中山間地域が占める県内の市町からは基盤整備をはじめとする土地改良事業の実施要望が非常に多く、その実現に必要な農業農村整備関係予算の安定的な確保をお願いする」と要請されました。また、地元代表として同行された「えーひだカンパニー(株)」の田邊裕子氏からは、高齢化や人口減少が進行する中で「比田地域ビジョン」の策定やその実現に向けた組織「えーひだカンパニー」の立ち上げ経緯、多面的機能支払や中山間地域等直接支払制度への取組みによる効果（人口減少に一定の歯止めがかかり、地域ににぎわいの回復の兆し）等について説明をされました。今回の要望活動では地域の生の声を直接届けることができ、要望先の皆様からも地域の現状について一定の理解を得ることが出来ました。

今後も国や関係機関に対して積極的に地元の声（実情）を届け、島根県の農業農村整備関係予算の安定的な確保に向けて要請活動を行うこととしています。



左より 田邊裕子氏、田中安来市長、進藤金日子参議院議員、楢野大田市長、田邊康成氏



財務省主計局 前田次長（中央）へ提案書を手渡す楢野会長（左から2人目）

（提案・要望書の全文は次頁に掲載）

活力ある農業と地域を支える農業農村整備の推進について要請	1
中国四国土地改良事業団体連合会協議会要望活動	3
令和5年度管内別業務説明会及び意見交換会開催	3
島根県NN技術者育成のための研修会開催	4
8月の主な予定	4

要 請 書

島根県における土地改良の推進につきましては、平素より格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

令和5年度農業農村整備事業関係予算につきましては、財政運営の厳しい中、当初予算において前年度を上回る措置がなされ、更に、防災・減災、国土強靱化のための5ヵ年加速化対策、TPP対策、食料安全保障対策などを加え、前年度並みの予算規模になりましたことに深く感謝申し上げます。

さて、本県では、農業従事者の高齢化や減少が進行する中、水田園芸を導入した収益性の高い農業への転換や中山間地における営農労力の軽減に必要な土地改良事業を、地域の特性を活かしつつ計画的かつ着実に推進し、持続可能な農業・農村の実現を目指しているところです。

しかし、地球規模の異常気象に伴う大規模災害の頻発化、コロナ禍やウクライナ危機などを契機とした物価高騰、流通の機能不全などにより、食料安全保障を巡る国民の不安が高まる一方で、農産物への価格転嫁は進まず、農業環境は厳しい状況が続いております。現在、国においては食料・農業・農村基本法の見直しが進められておりますが、日本の食料生産を支える農地や農業用水などの生産基盤を維持・強化することの重要性は益々高まっています。

つきましては、こうした課題に対応し、地域を支える農業農村整備事業の強力な促進を求める声が数多く上がっております現状をご賢察いただき、地域の特性を活かした活力ある島根の農業・農村を実現できますよう、下記の事項について格別のご配慮をお願い申し上げます。

- 1 令和6年度農業農村整備事業関係予算について、食料自給力の維持・向上を通じて食料安全保障に寄与する土地改良事業の計画的・安定的な推進を図るとともに、島根県農林水産基本計画に基づく水田園芸等の取組や、担い手不在集落の解消及び中山間地域等の特色を生かした農業・農村の振興等を、計画的・集中的に推進するため、地域の要望に十分応えられる予算を確保すること
- 2 農村地域の国土強靱化のため、老朽化した農業水利施設の長寿命化、豪雨・耐震化対策等を迅速に実施するために必要・十分な予算を確保すること
- 3 多面的機能支払制度については、農地等の保全管理を非農家も含め共同で実施することにより、担い手への農地集積を促進し、持続可能な地域コミュニティの実現に寄与していることから、こうした取り組みを一層推進するため、制度内容を簡素化し、交付単価を引き上げること
- 4 中山間地域等直接支払制度については、平地に比べ厳しい農業生産条件を補正し、荒廃農地の発生を防止することなどをおして、中山間地域の農業の継続・発展や集落の維持・形成を担っていることから、引き続き、十分な予算を確保すること

令和5年7月

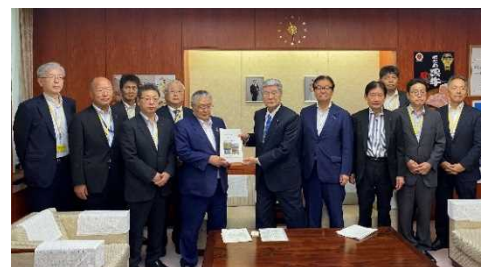
島根県農業農村整備推進協議会 会長 楢野弘和
島根県農地・水・環境保全協議会 会長 田中武夫

中国四国土地改良事業団体連合会協議会要望活動

中国四国管内9県の県土連で組織する中国四国土地改良事業団体連合会協議会（会長：篠原実愛媛県土連会長）は、7月10日～11日に国の令和6年度予算編成にあたり関係機関に対し要望活動を行いました。当日は各県土連から会長や役員など総勢15名が参加。本会からは高橋常務理事が参加しました。

農林水産省では野村哲郎農林水産大臣と面会し、生産条件の不利な中山間地域を多く抱える中国四国地域での農業農村整備関連施策の強化・充実と計画的かつ着実な事業推進に必要な財源確保に関する要望活動を行いました。

また、遠藤利明自由民主党総務会長、梶山弘志自由民主党幹事長代行、進藤金日子・宮崎雅夫参議院議員、財務省茶谷栄治事務次官らと面談して要望書を提出し、農業農村整備関係当初予算の確保等について要望しました。



野村農林水産大臣に要望書を手渡す協議会会員ら



進藤金日子参議院議員に要望書を手渡す協議会会員ら

【提案・要望事項】

- 1 食料・農業・農村基本法の見直しを通じた農業農村整備関連施策の強化と当初予算の確保
- 2 多面的機能支払制度の拡充
- 3 土地改良区の運営基盤の強化

島根県NN技術者育成のための研修会開催

7月26日（水）、島根県土地改良事業団体連合会が太田信介氏（元農林水産省農村振興局長）を講師に招き、『農業農村整備をテーマとしたワークショップ』を内容とした研修会を島根県土地改良会館で開催し、島根県及び連合会の担当職員21名が参加しました。

ワークショップは、参加者を3つのグループに分けて、農業農村整備の計画・実施にあたって「新たな事業の進め方」及び「新たな自己研鑽の方法」を提案することをテーマに行いました。最初は、初めてのワークショップということもあり戸惑いがある参加者もありましたが、全員が積極的に意見を出し合い、全グループが斬新な提案を発表するに至りました。

太田講師の講義及びワークショップを通して、前例にとらわれず時代のニーズに応えられる農村振興技術者として、業務に携わっていきたいと思います。



令和5年度管内別業務説明会及び意見交換会開催

今年度も県央管内を皮切りに県土連の管内別業務説明会が始まりました。

7月3日(月)、川本町の「悠邑ふるさと会館」で今年度1回目となる令和5年度県央管内業務説明会及び意見交換会を開催しました。この会は、毎年度開催していましたが、コロナ禍により開催の縮小や中止を余儀なくされ、3年ぶりに従来どおりの開催となりました。



説明会は、県関係者及び県央管内の町・土地改良区役職員、県土連役員など35名が参集し、本会の理事である嘉戸美郷町長の主催者挨拶のあと、島根県県央県土整備事務所郷原所長からの来賓挨拶、続いて県土連の令和4年度事業報告及び収支決算について報告を行いました。県土連からの報告は、例年2月に開催する総会に先駆けて収支決算後速やかに各会員へ運営状況を報告するものです。

その後、県担当者からは、「農業農村整備事業の展開方向」、県土連の中尾理事からは「農村RMO」、県土連担当者からは、「中山間地域等直接支払交付金事務支援システム てごする 」についてそれぞれ情報提供があり、意見交換に続いて久しぶりに懇談会も行なわれました。

今後は、7月、8月の2か月にわたり県内7箇所で開催する予定です。

8月の主な予定

開催日	行 事 等	開催地
8月7日(月)	令和5年度農業集落排水事業に係るブロック別担当者会議	岡山市
8月29日(火) ~30日(水)	2023年度(第72回)農業農村工学会大会講習会	松山市
8月31日(木)	中国四国女性の会総会	岡山市

みどり
「水」「土」「里」
の未来を創造し働きます

「水」 農業用水や地域用水
「土」 土地や農地
「里」 農村空間、農家や地域住民が一体となった生活空間

水土里ネット島根 (島根県土地改良事業団体連合会)

〒690-0876 島根県松江市黒田町432-1 島根県土地改良会館 TEL 0852-32-4141
ホームページ <https://www.shimanedoren.or.jp/> メール smndoren@shimanedoren.or.jp